



五味平一議員

落合小跡地を町民に速やかに解放すべきでは

具体的な計画は不明確

質問：閉校後約一年となるが、跡地利用計画の進捗状況は。用途別での利用を考えているか。また、緑地・グラウンド等を公園化する考えは。
町長：去年8月に跡地利用検討委員会の答申があった。現状の建物・周辺環境をできる限り保全しながら、コミュニティ活動の拠点とすること、第二次避難所とすることが主な内容。活用については、落合地区で活性化推進委員会をつくり決めていくことで合意をし

た。具体的な計画は不明確な状況。現在は総務課で管理し、使用時は申請書を提出してもらっている。早急に活性化推進委員会での計画のまとめを求め、行政でも支援をしていく。25年度予算でも維持管理に307万2000円を計上している。

質問：跡地の一部を行政サイドで利用する考えは。
町長：行政で管轄し使用する考えはない。

質問：跡地利用計画策定の今後のタイムスケジュールは。
町長：活性化推進委員会には年度末までにまとめてほしいとお願いしている。町も計画策定に協力していく。

質問：平成25年度予算編成に向けての町長方針の中の協働に、落合小学校後利用が入っているが、この協働は何をやりたいのか。町が持っている学校の財産を生涯学習

課に渡したらどうするか。
町長：協働と言った意味は、町に丸投げでなく、地元の施設という認識を持って、コミュニティ施設として協働の精神で環境保全もしながら管理活用してほしいということである。生涯学習課の所管は趣旨が違う。地域活性化のための施設として使用する。

質問：昨年の住民懇談会から、川路地区は冷遇されていると感じる。川路切り捨てではないか。
町長：発言が歪曲して受け取られている。インフラ整備をやってほしいという意見に、投資効果がないということを答えたい。

〔注〕川路地区：旧落合小学校通学区域の通称

□その他の質問

*町内小・中学校におけるいじめ及び暴力について
*選挙に関する改革について



安倍首相 TPP交渉参加を表明 —— 議員勉強会開催 ——

3月15日、JA信州諏訪営農部より講師をお招きして、同日午後に安倍首相が交渉参加を表明したTPP（環太平洋経済連携協定）に関する議員勉強会を開催しました。

前日に与党・自民党の外交・経済連携本部で承認された「TPP対策に関する決議」や、同決議が取りまとめられたTPP対策委員会での議論等の概要をまとめた「TPP対策特報No.93」などを参考に、関税撤廃による農産物への打撃や国民皆保険制度、公共事業、食品の安全規制など、国民生活の多岐にわたって懸念されている多くの影響について、お話を伺いました。

議員間では、それぞれの視点から活発に意見が交わされ、勉強会終了後には、TPPに関する意見書の提出について提案がありました。これに多くの議員が賛意を表明し、「TPP交渉参加断固阻止に関する意見書案」が19日の本会議に上程され、賛成多数で可決されました。（本号P3参照）

